

きを見る。坡上馬を立て、眸を放てば、黄河、汜水皆脚下に流る、傾斜盡る處、驪て下  
坡となり、其の關店坡コワンテンポに到る比は、降度愈々急に、馬車皆一木桿を車體に縛し、制轉器  
に代へて下坡に便す。下馬休憩約二十分、勇を鼓して此の急坡を下る。或は緩歩、  
或は速歩、馬前に倒れんとするもの數次、加ふるに日既に落ちて休憩宿泊すべきの  
人家なく、馬夫の鞭聲、車輪の響、唯寂寞を破るのみ。漸く北斗を仰きて前路を按じ  
七時五十分張寨チヤンサイに達す。此所は戸數約七十有餘の寒驛に過すと雖も、石材及石炭  
の産あるを以て、名あり、疲勞は甚し、宿意亦切なるも、豫定に背くを屑しとせず。況  
んや民家の旅泊に適するもの無きをや。憂々たる蹄響、隣々たる車聲を暗中に相  
和せしめ、其の鞏縣コウシエンに入りしは午後八時二十五分なりき、此日行程實に十四里。  
着するや否や、僕を馳せて先づ宿所を求むるも得ず。是れ外人の夜陰に及ひて  
宿泊するを疑ふなり。是に於て已むを得ず、刺を地方官に通じ、其の周旋に依て漸  
く安眠するを得たりき。聞く當城は城壁全部磚より成り、古は尹國の要塞を以て  
知らる、四面皆山、城は其の一盆地に位し、戸數約二千柿及石炭を産すと。

二十一日午前八時三十分、南門より出で、西南に向ひ、五里堡を経て十里堡に到